

非常勤も含め、4つの大学・大学院の教壇に立っています。

前川 これまで縁のあったところが中心です。国際経営論とカラオケ進化論を教えています。

いまの目標は

前川 「脱・松下人」です。すかね。幸之助に学んだ精神は忘れず大事にしますよ。でも、産業人を脱してこそ真の社会人だと思わんです。そういう意味では「超・松下人」かなあ。

そうすれば電話口で「元松下電器の前川です」と言わずに済む。「前川です」だけで通じるよう、裸の「前川」で付き合えるようにしたいですね。

——昨年、背骨を折る大げがをされ、リハビリも経験されました

前川 身動きが取れないと人間、落ち込むもんですね。焦りと絶望感が出てくる。そのときに、家族や友人の励ましがあって。宗教家や五木寛之さんの講演の



⑧

関西外国語大教授

前川洋一郎さん



CDをずっと聴いていました。随分と助けられましたよ。いろんな宗教の話とか、あの「おくりびと」の話とか。あんなに素晴らしいものとは思いませんでした。寝たきりで、本も満足に読めなかったので、CDやラジオの値打ちがあらた

で、第2が会社時代とする。今は第3の人生でしょう。前川 第1の人生で親や国が自分に投資してくれました。第2の人生でGDP(国内総生産)を稼いで税金を納めました。第3の人生では、それらの帳尻を合わせないといけないと思う

れるのはお金や地位ではなく名前、背中、教育環境だけです。家内にもよく言われました。子供に「それは注意せなあかんやろ」と。余談になりますが、会社も労働・教育環境を社員に与えて、いい社名を残さないといけない。やはりトップの背中ですよ。

——健康維持にはどう気を使っていますか

前川 毎朝のストレッチと、毎晩30分、家内と一緒に自宅の近くを散歩し

産業人脱してこそ真の社会人

めてよく分かりました。

——本やラジオは1つの感覚器官しか使わないので感性が研ぎ澄まされます

前川 そうですね、心に染み入るし、新たな考えも湧いてくる。お坊さんや宮本武蔵の修業であるとか、松下幸之助が石に座って考えたことであるとか、そんなことが分かるような気がします。

——第1の人生が学生ま

んです。社会への恩返しをしてもいいし、楽しめたかったら楽しめばいいし、勉強が足らなかつたら勉強するのでもいいと思います。帳尻が合えば、そのあとに訪れる第4の人生は楽しいですよ、きっと。

——次の世代に何を残しますか

前川 自分の子供に背中を見せるておくことは大事ですね。親が子供に与えら

ています。あとはカラオケを歌って、土日に老舗を見て回るのが楽しみです。土日には陸上競技の審判もしています。これは社会奉仕ですけれども、これは若者から英気を分けてもらういい機会です。

——おわり
(聞き手 南昇平)

◇ 次回は落語家の桂春菜さんです。

